

Mizuho Daily Market Report

2024/3/1

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	149.69	150.52	▲0.17	▲0.01
EUR	1.0828	1.0838	+0.0000	+0.0015
AUD	0.6514	0.6498	+0.0002	▲0.0059
SGD	1.3445	1.3458	▲0.0004	+0.0028
CNY	7.1941	7.1980	+0.0000	+0.0041
MYR	4.7610	4.7645	▲0.0065	▲0.0110
THB	35.87	36.02	▲0.04	+0.18
IDR	15720	15685	+0	+95
PHP	56.22	56.25	+0.01	+0.53
INR	82.93	82.93	+0.00	+0.08
VND	24647	24628	+0	+63

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.270%	+0.6 bp	▲5.1 bp
日本(10年)	0.704%	+0.4 bp	▲1.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.459%	+0.0 bp	+1.9 bp
オーストラリア(5年)	3.734%	▲4.6 bp	▲4.8 bp
シンガポール(5年)	3.043%	+0.0 bp	+0.1 bp
中国(5年)	2.225%	+0.2 bp	▲2.7 bp
マレーシア(5年)	3.594%	+0.0 bp	+0.1 bp
タイ(5年)	2.253%	+0.0 bp	+0.4 bp
インドネシア(5年)	6.478%	+0.0 bp	▲1.8 bp
フィリピン(5年)	6.077%	+0.0 bp	▲1.2 bp
インド(5年)	7.076%	+0.0 bp	▲0.1 bp
ベトナム(5年)	1.470%	+0.0 bp	▲5.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,949.02	+0.0%	▲0.3%
N225(日本)	39,018.33	▲0.5%	▲0.2%
STOXX50(ユーロ圏)	4,883.77	+0.0%	+0.6%
ASX(オーストラリア)	4,159.57	+0.0%	▲0.8%
FTSE(シンガポール)	3,138.93	+0.0%	▲2.6%
SSEC(中国)	2,957.85	+0.0%	▲1.0%
SENSEX(インド)	72,304.88	+0.0%	▲1.2%
JKSE(インドネシア)	7,328.64	+0.0%	▲0.1%
KLSE(マレーシア)	1,545.59	+0.0%	+0.0%
PSE(フィリピン)	6,876.52	+0.0%	▲0.4%
SETI(タイ)	1,382.05	+0.0%	▲1.5%
VNINDEX(ベトナム)	1,254.55	+0.0%	+2.2%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	275.27	+0.0%	+0.4%
金	2,034.71	+0.0%	+0.5%
原油(WTI)	78.11	▲0.5%	▲0.6%
銅	8,354.75	+0.0%	▲1.7%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	150.00	—	152.00
EUR/USD	1.0740	—	1.0860
AUD/USD	0.6490	—	0.6590
USD/SGD	1.3400	—	1.3480
USD/CNY	7.1850	—	7.2280
USD/INR	4.7260	—	4.8050
USD/THB	35.40	—	36.78
USD/IDR	15530	—	15800
USD/PHP	55.40	—	57.80
USD/INR	82.30	—	83.20
USD/VND	24,300	—	24,700

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は150円台半ばの水準でオープン。金融経済懇談会で高田日銀審議員が「2%物価目標の実現、漸く見通せる状況になってきた」との効率的な発言をすると、ドル円は149円台後半まで下落。その後の記者会見において、牽制的な発言を受けて150円台まで反発も買いは続かず、149円台後半の水準で海外時間へ。アジア通貨は総じて小動き。海外時間にPCE価格指数の発表を控え、様子見ムード。

海外市場のドル円は米金利が戻す展開を横目にじり高に推移。150円台前半の水準でNYオープン。NY時間朝方に発表された米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数が共に予想より悪化した他、米1月個人支出(前月比)も前日より低下している結果が嫌気され、ドル売りが優勢となる。続いて発表された米2月シカゴPMIも予想より弱かったことから、149円台前半まで売られる。売り一巡後は、米1月PCコアデフレーター(前月比)が前日より上昇している事が意識されてか、ドルの買戻しが入り、149円台後半まで戻す。NY時間午後にはテラー・サンフランシスコ連銀総裁の「利下げが早過ぎるとインフレが引き詰まる可能性がある」との発言が支えとなり、149円台後半を中心とした値動きが続いた後、同水準を維持しクロス。

【金利】

米債市場は小幅に金利低下。上振れリスクが警戒されていた米1月PCE価格指数が市場予想と一致したほか、新規失業保険申請件数が上振れや1月中古住宅成約指数の下振れもあり、金利は低下。その後はFRB高官から発言が複数見られるも、もみ合う展開。

【予想】

本日のドル円は戻りを試す展開となるか。昨日、日本時間の高田日銀審議員の発言が注目されたが、内容に目新しさはなく、どちらかというと月末要因やポジション調整などの材料を受けて1円以上ドル円が動く結果になったと推察。米国の年央以降の利下げ織り込みが変えるほどの強い材料に乏しく、ドル円は150円台半ばまで戻りを試す展開を予想。

【本日の予定】

(日本) 1月 失業率 / 有効求人倍率、2月 消費者態度指数、2月 製造業PMI(確)
(アジア) 2月 インド 製造業PMI(確)
(アジア) 2月 インドネシア CPI
(アジア) 2月 タイ CPI
(アジア) 2月 中国 Caixin製造業PMI
(アジア) 2月 豪 PM製造業(確)
(アジア) 2月 韓国 貿易収支
(アジア) 休場 韓国
(欧州) 1月 ユーロ圏 失業率
(欧州) 2月 ユーロ圏 CPI(速)
(欧州) 2月 ユーロ圏 製造業PMI(確)
(欧州) 2月 独 製造業PMI(確)
(米国) 1月 建設支出
(米国) 2月 ISM製造業景況指数
(米国) 2月 カンザシシティ連銀サービス業活動
(米国) 2月 ミシガン大学消費者マインド(確)
(米国) 2月 ワース 自動車販売台数合計
(米国) 2月 製造業PMI(確)
(米国) テラー・サンフランシスコ連銀総裁 / シュミット・カンザシシティ連銀総裁講演
(米国) ホスティック・アトランタ連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。